

3

至急

受信二二〇〇
二二二〇〇

〇〇三五

電〇二九二二
〇二九二九

本

硫黄島航空基地

七基地航空部隊戦闘概報着信艦所

機密第〇六一八三七番電 二分ノ二

7K

B二A B 戦闘概報第一六二號 (十二月六日) 其ノ二

一、電波探信儀捕捉中ノB一四 三機一一一六 一一三一 一一四

二何レモ五機

B二A B 戦闘概報第一六二號其ノ一

二、被害ノ項ニ左ヲ加フ

(イ) 電波探信儀用真空管三一一個破損

(ロ) 十二糎高角砲彈誘爆ニ依リ、三海中ニ投彈零戦二機邀撃セルモ捕

捉セズ

三二六三 呂一Bケ四 (九一〇〇KG) 父

三二六〇〇ヨリ一六五二迄天山一極ヲ以テ大美丸並ニ第六等洋丸ノ
對潛直衝實施狀ナシ。

(H)

至急

二七

受信〇九二〇〇

了二〇〇〇

電

〇〇〇

三三三

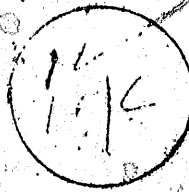
三一〇

〇三九

〇八七

作

概



支那方面艦隊口

海

警

東京通信隊・二遣支艦隊口・揚根
高雄通信隊・一揚根

機密第〇六一九五八番電 三分ノ二三

海南部隊戦闘概報第四號

一、自一月十六日至一月三十一日綜合戰果

陸上部隊

(一)敵ニ與ヘタル損害

遺棄死體一二射刺殺八三捕虜三〇制式艦順五九鹵獲兵器小銃二

六(全部使用可能)同彈藥包二六一獵銃八拳銃九同彈藥包七一

通三四六〇〇

三四八四

呂一〇ラ一八(一四九三〇Kc)上海

(1)

田内・田田

手榴彈七五地雷一

(一) 我方損害

戰傷下士官二兵一巡警一

(二) 交戰回数五〇

(三) 海上部隊

(一) 敵ニ與ヘタル損害

拿捕戎克二

(二) 我方ノ損害

戰傷兵一名

(三) 交戰回数二回

三自一月十三日至一月三十一日

(四) 陸上部隊

(一) 敵ニ與ヘタル損害 遺棄死体六二射刺殺一一二俘虜七〇投降六

七四獲兵器四十耗機銃四一内使用可能三一小銃一三五迫撃砲

自動拳銃位ニ小銃彈一〇二四二手榴彈九六地雷火一

(二)我方方ノ損害 戰死兵一通辯一巡警二戰傷士官一下士官五兵二

巡查二通辯一巡警三

(三)海上部隊

(一)敵ニ與ヘタル損害 戰果調査中

三敵機來襲狀況(自一月十六日至一月三十一日)

(1)十六日自〇九三〇至一二三〇本島各地及海上ニ敵機動部隊艦載機

左ノ通來襲

海口延三九 三亞榆林延二九 本島北西部及西部數機 本島東方

航行十數機

(1)擊墜一二(内不確實三)擊破五

被害第九〇一海軍航空隊自爆未歸還三被彈大破一・加來基地第一

滑走路被彈六曳船一炎上其ノ他兵舍人員ニ若干ノ損害アリ

(2)夜間哨戒機ノ來襲回數四(爆音ノミ)

(3)

20. 2. 8.

（四）前月 P I 三八來襲回数三（本月）

（四）本島敵機來襲回数ハ前月ニ比シ減少セルモ十六日敵艦載機ノ來襲

ニ依リ敵匪ノ臺灣人及中國人團體ニ對スル諜略工作積極化セル徵

子認ム嚴戒中ナリ

（四）前旬ニ引續キ外敵邀撃作戰準備ハ軍民一致協力ニ依リ着々進捗中

ナリ。

（東通註 本電誤字多ク遅延）



二七

受信二二三〇〇 譯了二三〇〇 電〇三四四二 災作
譯始二二三〇〇

緊急

共符



聯合艦隊P・一南遣艦隊P・東通・横通・一護衛艦隊P・佐通
海護總P・高警

機密第〇六二一三〇番電 二分ノ二

着信者 横須賀佐世保各工廠長
發 第三十一戰隊司令官

W 一番砲及二番砲旋回過重 一番聯裝機銃照準器及 一番單裝機銃照準
環破壊八番單裝機銃旋回過動

(下) 電波探信儀送波器破損九三式探信儀能力低下

(中) 幹線電波探信儀受信機作動不良

(上) 船體各部浸水漏油

二沙風ハ基隆ニ於テ應急修理ノ上内地ニ回航細密ナル検査修理ヲ要スル

モノト認ム

一電信課註 本電二分ノ一既配付

通三八三八 呂一八ヶ三(四七〇五)高雄 原野(渡邊)

20. 2. 8

二 七 受信 〇七七八 了 〇九四五 電 〇三〇八一
緊急 開始 〇七四五 東 災 在海



一 護 衛 隊 隊 長

海 南 警 備 府

東 通・佐 通・高 嶺・一 南 道 警 隊 長・二 支 隊 隊 長

機 密 第 〇 六 二 二 四 六 番 電

發 參 謀 長

通 報 水 路 部 長 門 司 在 勤 武 官

一 燈 光 浮 標 調 査 ノ 結 果 東 口 A B 浮 標 ハ 最 近 流 失 シ タ ル モ ノ ノ 如 シ 目 下

假 浮 標 設 置 手 配 中

二 西 口 O D 浮 標 ハ 異 狀 ナ シ

三 各 浮 標 荒 天 ニ 際 シ テ ハ 流 失 ノ 虞 ア ル ニ 付 通 航 上 注 意 ス ベ シ 三 共 ニ
夜 間 ハ 消 燈 シ ア ル ニ 付 航 行 ハ 危 險 ト 認 ム

通 三 四 五 九 呂 一 B ヶ 四 (四 七 〇 五 五) 高 雄 山 内 (松 井)

①

② 作

二六 受信二三三〇 譯了〇二四〇 電〇二九三五 作機
七 譯始〇二〇〇

③ 共 符

④ 父根戰闘機報着信艦所

機密第〇六二二五三番電

發 父島根據地隊司令官
戰闘機報二月六日其ノ二

一〇五三敵大型機一機高度約二〇〇〇米ニテ來襲灣口附近ニ磁氣
機雷投下

ニ戰果被害ナシ。

通三三一九 呂一Bケ四 (五一〇〇KG) 父通 東京 (淺筒)

20. 2. 7.

人

二七

受信開始 〇〇三五〇六

了 〇三三五

電 〇二九六一

作 樹 〇

作戰緊急

●

父

根

▽

●

願

潛

四

七

傷

●

硫黃島航空基地。硫黃島警備隊。横領。？

機密第 〇七〇三二五番電

敵大型機ト交戦中

母島ノ七二度 三〇涅。

通三四一〇 於一四(五一〇〇K) 父通 (高瀬) (様) (澤)

20. 2. 7.

20. 2. 6.

人



通報 軍需局長 軍務局長

二KB 戦闘概報 二月六日

一、二四〇ヨリ一三五〇P一三八 十数機三編隊ニテ逐次バリツクバ

パン侵入主ニ第一第二飛行場附近一帯爆弾投下零戦四機陸進地上砲

火・協力一三四五 撃退

三、戦果ナシ

三、燃料廠被害ナシ 第一飛行場指揮所^{其他}家屋全壊第二飛行場被弾セルモ

一八〇〇修理完了飛行場地區外ニ多数被弾附近施設部苦力宿舍全壊

五棟苦力死傷三二〇

通三四二二

協 作 (六五三二、五五〇) 二二一 通

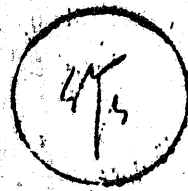
岩 (齋) 佐

六一二三一九

20. 2. 7.

二七 受信 始信 一六三〇
譯了 一八四五 電〇三二五一 作 概

至 急



南東方面部隊戦闘概報着信艦所

機密第〇七〇七三三番電

R N 方面部隊戦闘概報第一二八號 (二月六日)

RO〇七〇三一 一六一二 常時 F 四 V 二機宛計八機哨戒銃爆撃一八
四七一 一九三三、二二一九、二三四四 B 二五 二機宛計四機ヲテ
爆撃〇四二六一〇七二八、一四五五一 一六五五、一六三〇、一六
三一各 B 一 二四 一機偵察〇九四〇 B 一 二五型一五機「キマト
一爆撃一二二〇 B 一 二四 一機一四〇五 三機南東進〇七一五一
一〇一五各 P B 二 Y 一機北西進二一五七一 二二〇 五魚雷艇爆音北
西方南西進一八四五「ヌサ口モソヒユ」三一五度一五籽ニ白燈
五個點滅

六機果シ 被害 輕傷一名

五五六九 呂一、夕十一、八九九五 C) 四通放 日少 (小野田)

20. 2. 8 91

二七

受信開始一三〇七

譯了一五三〇 電〇三一六九

作概

急

碓黄島航空基地



第七基地航空部隊戦闘概報着信機所

機密第〇七〇八二一番電

E二AB戦闘概報(二月七日)其ノ一

一、六月一八一五ヨリ七日〇五四迄敵大型各三機十四回來襲トリ狀況

左ノ如シ

(1) 島内(東ケン西地區附近)四機

(2) 五機(四機)

(3) 投彈機ヲモノ北上三機B一七三

三被害貨物自動車一中銃艇所半壊二幕全全燬四。

通三五一五 月一B々四二〇二〇〇C交通 東野(木下)

人

二七 受信 開始 一一五八七

譯了 一二〇六 電 〇三一一二

航作 概本 〇

作戰緊急



東 通・聯合艦隊口・海上 衛總部隊各口・?

支那方面艦隊口・南西方面艦隊口・二遣支艦隊口 佐領

機密第 〇七一〇三九番電

六日二二〇〇ヨリ七日〇三三五ノ間敵ヨリ二四約一〇機ハ間ケツ
的ニ高雄地區ニ侵入高雄商港ヲ中心トシ附近八箇所ニ小型爆彈及
燒夷彈ヲ投下シ南西海面ニ脱去 戦果及被害ナシ。

通三五五一 オ一四一三三五二〇 高通 西河(吉井)

20. 2. 8 =

人

作戰緊急

二七 受信 一五三〇 譯 丁 一七五八 電 〇三二四七 作 概
始 一六〇〇

三十根



三十根戰團概報着信艦所・一聯合基地航空部隊口・先遣部隊口
四十六警備隊・ヤツブ航空基地

機密第〇七一二九番電

左ノ通特異ノ情況アリ警戒ノ要アリト認ム

六日一四〇〇コスソル水道ヨリ輸送船七隻油槽船一拔錨小艦艇八
出港作戰部隊既報

更ニ一八〇〇驅逐艦一小艦艇四隻上陸用舟艇一〇隻出港三〇度方
向ニ別動ス

三本七日〇三〇〇大型機五機九〇度方向ヨリペリリュウ島着〇四〇
〇ヨリ〇五〇〇ノ間ニ大型機一機及〇度方向ニペリリュウ島發

四 大艇全部昨朝來見當ラズ。

通三六四二

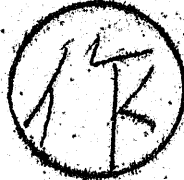
出 一五二四一

20. 2. 8 at

人

二七 受信一六六一〇 譯了一七一五 電〇三二二六

緊急



第三航空艦隊P・一二、二五各航戰P・佐鎮・吳鎮
大海參一部

機密第〇七一四二八番電

聯合艦隊電令 第六二八號

左ニ依リ第十一航空戰隊第二十五航空戰隊聯合訓練ヲ實施ス
本聯合訓練指導官ヲ第十一航空戰隊司令官ニ指定ス關係鎮守府長官ハ南九州所在練習航空隊及航空廠ヲシテ本教練ニ協力セシムベシ
六期日自二月十五日至同十八日
三訓練區域南九州方面
三燃料制限ニ關シテハ別途指示ス
四其ノ他訓練指導官所定
通三六七八 呂一四七四 () G F 口 鹿島 () 鹿田 ()

航作 育本概

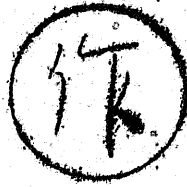
20. 2. 8

二 八七 受信 〇四三〇〇 譯了 一〇〇〇 電 〇〇三六四五 概
八七 譯始 〇四三〇〇 譯了 一〇〇〇 電 〇〇三六四五 作

至 急

東 通

一〇通・二一通



機密第〇七一四三〇番電 二分ノ二

發 第四南遣艦隊參謀長

宛 聯合艦隊參謀長

通報 第十方面艦隊參謀長 大海特務班長 第二南遣艦隊參謀長

今般ノ南西方面部隊全線ノ情報非島方面現戰況ニモ關聯南西方面對敵

通信機關任務分擔ハ一應整理ノ要アリト認メラルル所右ニ對スル貴意

急承知致度 尙第四南遣艦隊麾下對敵通信機關(二十四通)第二分遣
隊人員 兵器並ニ配員現狀左ノ通

通三八一六〇

呂二Bケ三(六一二二五) 二四通 淺沼(新井)

(一)

20. 2. 9

一、通信諜報關係 準備士官三名 准士官一 電信員二四（内一二「マ
ラリア」休業中）

二、測定機中波短波各一 受信機十五台使用可能

三、現配備米艦船系「ニユギネア」方面攻撃機系並ニ哨戒機系

人

二七 受信一七五八

譯了一八一〇 電〇三二二五

航作 本概〇

緊急

● 總無線艦所用共通符號

● 東 通・聯合艦隊口・横通・第三航空艦隊口

● 小笠原部隊口・硫黃島航空基地



機密第〇七一四三五番電

20. 2. 8

發 南島守備部隊指揮官

着信者 横須賀鎮守府司令長官・軍令部次長・次官

受報者 厚木航空基地・第二十二戰隊司令官・第七潜水戰隊司令官

戰鬪概報 (二月七日)

一 一二〇五・三三〇度高角四度二〇〇〇米ニE-I二四 二機ヲ發見爾

後本島周邊一〇〇〇米内外ヲ高度約四〇〇米ニテ偵察發退去セリ

二 發射強數(強強數)十機七高角砲一一(一一一五七)

三 戰果被奪ナシ。

三三七〇三 呂一Bヶ四) B (機通 淺沼(橋田)

下

2

二
八七
受信二三一五
譯始〇一五五
譯了〇三一二
電〇三四一二
作
概

共符



父島根戰團概報着信艦所

機密第〇七一六二一 番電

發 母島警備隊司令

戰團概報 (二月七日)

一〇九五三B一七 一機一六〇度三〇分ニ北上スルヲ發見警戒中ノ處
〇九五九 エ〇〇度三〇分ニ敵艦ヲ探知一〇〇〇ニ至リ二〇〇度方
向ヨリB一二四 五機及單機ニテ二回ニ互リ來襲原チ房山劍先山長ニ
對テ子機與彈數箇發射三〇〇度方向ニ進走

ニ敵艦ナシ

通三八九三 呂一Bラ十八へB (横地) 田中 (清塚) (一)

2010

20. 2. 8

三 被撃戦死工員一

- 四 (一門殘弾) 十二 纏高角砲通常彈四八 (一七五)
- (二十五 経機銃彈七二 (一八〇三))
- 燒夷散彈一四 (三五)

↑

二九 受信 一一四〇〇 譯丁〇二三〇 電〇四三四〇 作概



支那方面艦隊口

揚

根

▽

總長・聯合艦隊口・南京警備隊
上根▽・海南警備府・二遣支艦隊口

機密第〇七一六三一番電

通報 上海在勤武官 漢口在勤武官 南京在勤武官 青島在勤武官

大臣 參謀長 佐領參謀長

揚子江方面特別根據地除職團機報第一〇號(二月五日)

一三四五P 四機安慶ニ來襲隅田部隊及防空隊ハ陸軍ト協力

直ニ攻撃退セリ戰果一機擊破被害海軍側二營一兵負傷一陸軍側死

傷者若干アリ

三自二一一六至二一二三B 四機揚子江本流域ニ機雷投下揚

根ハ金口鎮附近ニ之ガ搜索處分ノ爲舟艇ヲ派遣シタルモ拘提機雷

ナシ

通四五八七 (東通註 誤字大電照中遲延) 呂二Bラ十八(一四九三〇) 上陸通 黒田 (齋ひ)

20. 2. 11

作

至
急

二七
受信二三五〇
譯始〇一三五
譯了〇三二〇
電〇三五五九
作航本〇

九〇一空

新 竹 空 基 地

海軍總各戸・九三一空（佐伯空基地）
九〇一空（アタイ派遣隊）

機密第〇七一六五〇番電

第九三一航空隊新竹派遣隊作戰日報第一號（二月七日）

一、新竹基地ニ於テ戰備作業ニ主滑走路彈痕其ノ儘、爲應急鋪裝ハ施設部ノ助力ニ依ルヲ實施ス

二、艦攻九機ハ小祿基地ニ於テ待機中二月十一日〇七〇〇發進新竹ニ集中ノ豫定

三、明八日ノ作戰要領ハ本日ノモ、ニ同ジ

通三九一九 呂一日ケ四（六七KC）佐二通放 奥山（河田）

20. 2. 8

二八 受信 〇六二六 譯了 〇七〇三 電 〇三四八四 作 概
開始 〇六四〇

急 宣



二二根戰團概報着信艦所

機密第〇七一八〇〇番

トリトリ水上基地戰團概報

一〇七二〇B一三五 一九機P一三八 二〇機來襲交戰四〇分之ヲ西

方ニ擊退

三一〇一〇B一二四 一機來襲交戰二五分北方ニ擊退

三一〇一〇PBY一二 一機來襲交戰三〇分之ヲ北方ニ擊退

以我方損害ヲ消耗彈二十耗機銃一二〇發三番三號二發。

通四〇〇九 於十四 (六八二三五KO) 二十一 清水 (久保田)

20. 2. 8

二 八七 受信二一四六 譯了〇一二五 電〇三五一六 航作本〇

至一急

海上護衛總口

吳防戰

佐鎮・吳鎮・九五一空・八〇一空・佐伯空

機密第〇七七八〇四番電

宛 海上護衛參謀長

機密第〇四一四一五番電開聯

左に依り佐伯航空隊水上偵察機隊（三月上旬修業豫定ノ錬成員ヲ主

トス）ヲ三作戰ニ加入セシメ之ヲ實施ノ希望ナル處然ルベク取計

ヲ得度

一、參加兵力 重波探信儀八機磁探七機

二、參加期間 二月廿五日頃ヨリ一〇日間

三、三八六二

四、一三ケ組

20. 2. 8a

2016

三 使用基地指宿

四 作戦海面 5 三作戦ニ於ケル作戦區域ノ攻撃目標

(11)

人

二八 始信 〇〇二〇〇〇 丁 〇二二〇 〇二二九九九 作 概

緊急

二十六 戦 P



クラーク防備部隊海

機密第〇七一八三四番電

K B K 戦國概報第一〇號(二月七日)

一 戦況特ニ變化ナシ

二 B I 二六 B I 二五 P I 三八 P I 四七計約八〇機終日複廊マリアナヲ

銃爆撃

三 高角砲兵ハ約一箇中隊(一五榴四門)ニ減少セリ。

通三九四一 呂=Cラ十八(四七四二)五KO(一GEGBT

安彦(小川)

20. 2. 8

天
命



二八 受信一五二〇 一六一六四五 電〇三六四八 作 概
譯始一五三五 電〇三六九四

緊急

八警備隊

●二三特根戰團 報着信燈所

機密第〇七一九三一番電 二分ノ二三

戰團概報第四九號二月七日

一〇七一八 四發二機「メナド」來襲市内爆撃北ニ撃退被害ナシ
〇九五〇 四發一機「ミナハサ」地區南部ヲ西ヨリ東ニ通過一
二一〇P I三八 一機南ヨリ來襲「ランゴアン」「トンドンダモヤ」
地區ヲ通過東ニ遁走一三二三 四發一機「メナド」來襲市内爆
撃北ニ撃退被害ナシ一三二六ポ「ファイター」六機「メナド」來
襲低空旋回主トシテ橋梁ヲ爆撃東ニ撃退被害「カイラギ」橋破
壞「トラツク」一炎上下士官二邦人ニ戰死戰果撃破四

20. 2. 9a

手

二八 受信 〇〇四五 了 〇三五〇 電〇三四二八 作 概

至急



第七基地航空部隊戰闘概報着信監所

機密第〇七一九四六番電

E二AB戰闘概報第一六三號(二月七日)其ノ三

一、一五一二彦島二一〇度一一〇軒ニ編隊探知一五四九ヨリ一六四八海

六回各數機編隊三二〇度乃至一〇度方向ヨリ來襲雲上ヨリ太坂山及

第三飛行場附近ノ北東海中ニ投彈ヒリ被害ナシ

二、明日實動機數

零戰天山陸軍一式戰闘機各二機。

通三九三六 呂一Bヶ回(B)横須賀 大山原(小川)

20. 2. 8

二七

受信二二〇五五
開始二二〇五五

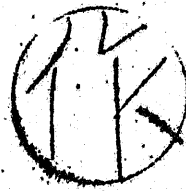
了二二五〇

電〇三三二六

作 繼

緊急

第一航空基地



第一聯合基地航空部隊戰團概報着信處所

機密第〇七二〇二四番電

五三A B戰團概報(七日)

一〇八三〇一六五〇 P I 三八延三機 B 一四延六機來襲「サラン」

基地第二基地爆撃「サラン」基地滑走路被弾一發平日中ニ修理完了ノ見込其ノ他被害ナシ

二「カガヤン」方面一〇三〇 P 四 U 一 三機北進ノ外敵機ヲ見ズ
三、機動機ナシ

通三八六五 品一ロラ十八(七八五五C) 三十二日 日野原(四谷)

20. 2. 8

二八 受信一五五五

電〇三九三八 作訓・海艦

至急

天

符

作

海上護衛總

大海參一部・聯合艦隊口・支那方面艦隊口

機密第〇七二〇五〇番電

G E B 戰訓速報四一號

最近夜間左ノ如ク各種ノ偽爾法ヲ構ジツツアルモノノ如ク彼
 我ノ判斷困難ナル爲攻撃ノ好機ヲ逸シタルモノモアリ索敵攻撃位ニ
 對潛警戒上十分ノ留意ヲ必要ト認ム

(1) 海三〇ハ沖繩島附近ニ於テ夜間司令塔上ニ煙突様ノモノヲ裝備シ
 一見「キヤツチヤ」ポート」ニ類似ノ敵潛ヲ早クヨリ發見セルモ
 味方特設艦船（第七利丸）ニ非ズヤトノ疑アリシヲ以テ之ガ確認
 勞メツツアル裡敵潛ヲ逸スルニ至レリ

(2) 馬來半島東方海面ニ於テ時雨ヲ攻撃セル敵潛水艦及三宅ノ發見セ
 通一〇四七・一〇四八・一〇四九 壽B

(參見) 1

2.9

ル浮上敵潜水艦ハ何レモ潜水艦ト見エザル程ノ高キ乾舷ヲ有シ
 艦首尾ハ殆ト垂着ニ近ク水上艦艇ノ如ク見エ司令塔ハ中央ヨリ稍
 前方ニ位置シテ商船ノ船橋ニ類似シ橋二本ヲ有スル大型船ノ如キ
 外貌ヲ呈セリ

(ハ) 南西諸島方面ニ於テ夜間白灯點出シタル浮上潜水艦アリタリ

ニ敵潜水艦ノ出現時機ハ依然トシテ日没後ヨリ夜半迄特ニ多ク襲撃時機ハ
 日出前一乃至二時間及日没二時間後ヨリ約三時間ニ最モ多シ尙夜間
 又ハ視界狭小時ハ主トシテ浮上襲撃ヲ企圖シツツアリ此ノ際ハ
 水上見張ヲ整ナラシムト共ニ電探ヲ善用シテ之ガ先制發見捕捉ニ努
 ムルコト肝要ナリ。

出 出 出

失

作

二
一〇九
受信一八九四四
〇八四〇
譯了一二二五
電〇五〇七
作
概

泰國在勳武官

一南遣艦隊尸。南西 方面艦隊尸。一〇、二、一各根
軍務局。軍令部第一部。軍令部第三部。一三根

機密第〇七〇五八番電

本日〇六五〇ヨリ一八三五ニ至ル間遠續三回ニ亘リバンコツ夕警戒
警報發令一二〇〇頃ヨリ一四〇〇頃迄第一梯團ハ九九型數機編隊
群ニ於ケル機數二機一機一三〇〇頃ヨリ一六〇〇頃迄第二梯團一同
延機數二八機一機一六分レ一六世橋一市街上流南方線鐵橋一及一
パンス一盤谷西方一盤谷北方約十軒一附近ヲ集
中爆撃セリ「ラマ」六世橋中央約五〇米落下附近寺院民家ニ損傷ア
リ其ノ傳、撤布等相當ノ被害アル見込ナルモ詳細目下取調中
尙昨年九月ノ雨期明ケ以來敵機ノ目標ハ交通線ノミニシテ市街ヘノ
投彈ハ皆無ナリ。

通四七九五 壽一〇ケ二一六二三五KG一十通 菅原(金森)

20. 2. 11

人

二八 受信開始 〇〇四〇〇五八 譯了 〇五五〇 電 〇三四四七 作 概

緊急

共符



呂一五・伊三七

呂四六・呂一二二・呂一一三・六艦隊P・七潜戦

機密第〇七二二五六番電

發 高警參謀長

高警機密第〇五一二四〇番電關聯

七日一三〇〇ヨリ一四三〇迄B一二五B一四七等戰爆聯合

約二〇機ハ高雄地區ニ侵入高雄商港及港外行動中ノ潜水艦ニ對スル

嚮導艇ヲ銃爆撃セリ明八日以後引續キ午後モ來襲ノ算アリ

通三九四四 呂二Bラ十八(四五七二、五K) 高通 平島(細川)

20. 2. 8.

二一八 受信 〇〇二五〇〇 譯了 〇六〇〇 電 〇三四六六 航作機本〇

至急

六三四 航空隊



一聯合基地航空部隊
南彌作戰部隊

機密第〇七二三三二番電

水爆隊戦闘概報（二月七日）

- 一、水爆二機一六五〇發進日施哨戒。P.P.三四索電信機故障引返ス
- 一八四五歸着進出距離一一〇溼・P.P.三二索二一一〇歸着進出距離二五〇溼何レモ敵ヲ見ズ索敵實施附近天候快晴視界二〇溼
- 二、可動機數七機。

通三九六九 呂一五ヲ十八（四五七二五〇）高放 片山（編小）

20. 2. 8.

西貢

①

天人

② 作

至 急

二 八 受信 一八三五〇

了 一九二五

③ 一 一 根 P

電電電 〇〇〇 三三三 八七六 四四四 一八〇

作

海上、橋總口、聯合艦隊口、第一遊撃部隊口、海南警
西方部隊各P、第一護衛艦隊P、二遣支艦隊P

大本營海軍部、泰國在勤帝國大使館付武官
大海佛印派遣委員事務所

機密第〇八〇〇一五番電 三分ノ二、三

一二〇〇ヨリ一三一五ノ間B一ニ九 四九機四群ニ分レ西貢ニ來襲
密雲上ヨリ市内竝ニ郊外水田ニ投爆セリ

一埠頭地域西貢基地ヲ始メ日本軍施設ニハ一切損害ナシ

ニ總督官邸前「ノルド」ノ日本人會ニ命中邦人死亡四ハ海軍囑託増

田年尙(日本人會長)豫テ當隊ノ指令ニ基キ本部タル日本人會ニ

通四〇九七 四一四五、四一四九 天「B(一七五九〇KG) 十通

20. 2. 9.

於テ海軍管理諸工場防護指揮中爆撃ニ依リ戦死

三ドウガイ佛領印度支那陸軍兵舎南部佛領印度支那軍司令官官舎地

區ニ投爆シ附近ノ佛領印度支那海軍士官官舎佛住宅多數共ニ爆

碎人員ニ相當被害多キ見込アリ

四「ナベ」海軍貯油所西方二軒水田中ニ多數投爆セリ

三 七〇斤乃至一五斤 二二四二地點ツタ毛二八 一三斤 三日〇四
 〇〇迄六〇斤乃至一〇〇斤ニ連續捕捉 三日二〇四三 四日〇一
 〇迄六斤乃至八〇斤ニ連續哨戒中

II